

令和5年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

国語科

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

観点	1学期			2学期			3学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析（授業改善・評価）	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
知識・技能	1年	○新出漢字の既習など文字を整えて書く意識をもつことができた。○語彙力を高める意識をもつことができた。▲漢字テストの予習をしていない。	①漢字テストに向けて、漢字ノートを家庭学習として活用するなどして、予習に取り組むことを促していく。	1年	○書写において楷書の点画を理解して書くことができた。○具体と抽象の違いについて理解し、使い分ける力が身に付いた。▲歴史的仮名遣いに課題がある。	①古典新聞の作成に取り組み、知識を自身で調べ、確認する機会を設ける。	漢字テストなど計画的に取り組むことができた。来年度は、歴史的仮名遣いなど古典について重点的に指導をしていく。
	2年	○新出漢字の既習など文字の形を整えて書くことができた。○語彙力を増やし、適切に活用する力が伸びた。▲復習が足りず基礎的な力が定着していない。	②次時に復習テストを行うなど、その日の学習内容をその日のうちに学習する習慣を身に付けるよう促す。	2年	○書写において行書の特徴について理解して書くことができた。○話し言葉と書き言葉を理解し書き分ける力が身に付いた。▲返り点など漢文の読みに課題がある。	②基礎コンテストで、同音異義語や類義語・対義語を確認し、漢字の理解や定着を図る。	漢字テストなど計画的に取り組むことができた。来年度は、返り点など漢文の知識について重点的に指導をしていく。
	3年	○漢語・和語・外来語など語彙力を高める活動▲漢字小テストへの取組意欲が低い。▲授業内容の復習や家庭学習が足りず、基礎的な力が定着していない。		3年	○書写において行書の特徴について理解して書くことができた。▲推敲において、自身で誤字脱字に気付かず直すことができない。		書き言葉の指導に重点を置いて、自らが誤字・脱字・衍字に気を付けるように指導した。
思考・判断・表現	1年	○対話的な学習の場を増やし、楽しみながら学ぶ取組を行った。○創作活動に意欲的な生徒が多い。▲文章の表現間違いが多い。▲問題の解き方を理解していない。	考査の作文に限らず、様々な活動と連携して俳句や短歌を創作したり、作文を書かせていく。語彙力を増やし、適切に活用する力を身に付ける場面を増やしていく。	1年	○小説を創作し、朗読劇としても表現した。○他の意見を聞いて、自分の考えを深めることができた。▲表現力や語彙力を活用しきれていない。	考査の作文に限らず、様々な活動と連携して俳句や短歌を創作したり、作文を書かせていく。語彙力を増やし、適切に活用する力を身に付ける場面を増やしていく。	対話的な学習の場を生かし思考力や表現力が高まった。言葉を大切にし、語彙力を身に付ける授業を展開していく。
	2年	○創作活動に意欲的な生徒が多い。○自分の考えと他の考えを共有し、▲文章の表現間違いは減ってきたが、自分で推敲して直すことができない。		2年	○文章力が高まっている。○他の意見を聞いて、自分の考えを深めることができた。▲文章の表現間違いは減ってきたが、自分で推敲して直すことができない。		文章力や表現力が高まり、作品の完成度などが向上した。自らの書いた文章の誤りに注意し、気付けるように指導していく。
	3年	○文章力、表現力が高まっている。○スピーチなど自己表現の活動に意欲的に取り組めた。▲文章の表現間違いは減ってきたが、自分で推敲して直すことができない。		3年	○文章力が高まっている。○鑑賞文を書くことで自己の考えを豊かに表現できている。▲文章の表現間違いは減ってきたが、自分で推敲して直すことができない。		語彙力や表現力が高まった。入試対策などを通して演習を多く取り入れ、実践的な力を身に付けられた。
主体的に学習に取り組む態度	1年	○挙手発言が多く、積極的に授業に参加している。○ノートを丁寧に作ることができている。▲復習する習慣が身に付いていない。	①国語を学習する意義を考えさせる。考査や授業における自分の目標を学期初めに設定させ、自らの達成に向けて意欲を高める。	1年	○暗唱テストに積極的に取り組み『竹取物語』冒頭の8行は全員合格。また、冒頭と合わせ原文2行を暗唱した生徒が複数いた。▲復習が常態化していない。	①自分で目標を決め、達成する機会を今後も設け、挑戦する姿勢を育てていく。	ゼミ学習や基礎コンテストを通し、主体的に学ぶ態度が見受けられた。来年度も意欲喚起を工夫していく。
	2年	○全員が発言する機会には諦めることなく取り組める。▲振り返りシートの内容が十分でない。	②毎回の授業での振り返りシートに記入する内容を高めていく。	2年	○暗唱テストに積極的に取り組み『平家物語』冒頭の8行は全員合格。また、冒頭と合わせ原文5行を暗唱した生徒が複数いた。▲復習が常態化していない。	②授業の復習に限らず、ICT教材での復習も取り入れていく。	ゼミ学習や基礎コンテスト、国語学習のまともでは、主体的に学ぶ態度が見受けられた。来年度も意欲喚起を工夫する。
	3年	○授業中の挙手や発言が増えてきた。▲振り返りシートの内容が十分でない。	「わかる」を増やし、自己肯定感を育てていく。	3年	○暗唱テストに積極的に取り組み『おくのほそ道』冒頭の5行は全員合格。また、冒頭と合わせ原文3行を暗唱した生徒がいた。▲復習が常態化していない。		国語レポートや基礎コンテストでは主体的に学習に取り組む態度が見受けられた。
研修課題（キャリア教育に関連した教科としての取組）	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法		1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容		2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題
・生徒の主体性を育む授業 ・地域や小中との連携を生かした取組	・発表において大きなテーマのみを設定し、各自が興味のある学習を模索できるよう工夫した。 ・「地球人のあいさつ2023」の企画に参加し、連歌創作に取り組んだ。		○主体的な学びを深めるため、振り返りシートを活用し、自己の学習について意義を考えさせる。 ○宇宙連歌の上の句創作。	・振り返りの時間を十分に確保し、自己の学習について粘り強く考えることができた。 ・小学校との連携授業「絵本読み聞かせ」を実施。 ・「地球人のあいさつ2023」に関して、オンライン出前授業を実施。下の句を創作し、宇宙連歌を完成させた。		○振り返りの量が増え、既習内容を次にどう生かすか考える姿勢が見られた。 ○世界や日本中とのつながりを感じ、ビデオメッセージでも交流ができた。	○単元別授業や国語科授業のまとめとして、主体性を育む探究学習を実施できた。 ▲連携を生かした新たな取組を模索していく。